



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日

上場会社名 株式会社ベネフィットジャパン 上場取引所 東
 コード番号 3934 URL <http://www.benefitjapan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 寛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 松下 正則 TEL 06 (6223) 9888
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	6,257	8.5	358	△54.0	346	△56.5	91	△82.5
2022年3月期第2四半期	5,765	24.6	778	17.0	797	15.2	525	14.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 91百万円 (△82.5%) 2022年3月期第2四半期 525百万円 (14.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	15.43	15.31
2022年3月期第2四半期	88.70	87.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	10,268	6,199	60.4	1,041.37
2022年3月期	10,062	6,155	61.2	1,034.96

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 6,199百万円 2022年3月期 6,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,483	7.9	946	△37.2	925	△39.6	466	△55.6	78.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	5,954,954株	2022年3月期	5,948,139株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,515株	2022年3月期	429株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	5,948,810株	2022年3月期2Q	5,928,877株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算説明資料については、決算発表後に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方法の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動規制が緩和されたものの、ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格の高騰、円安の進行など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループは、契約回線数が前年同月比20.5%増加したことによるストック収入の増加やロボット事業における新規獲得件数増加により増収となりましたが、ロボット事業において販売人員及び販売促進費を増加させ事業拡大を図ったものの想定した新規獲得件数に届かなかったこと、量販事業部立ち上げに伴う先行投資費用が発生したこと、新型コロナウイルス感染症に伴う行動規制が緩和されたことで大手通信キャリアや他企業による各種イベントが多数行われ、優良店舗の確保が難しかった等の要因で減益となりました。また、一部代理店の信用状態悪化に伴い当社債権の回収見通しが不透明となったことから、現時点で認識される債権の全額に対して引当金計上を行いました。なお、当該代理店に対する当社の債権額は流動的であり、今後金額の増減に伴い引当金額は増減する見込みです。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高6,257,764千円（前年同期比8.5%増）、営業利益358,015千円（同54.0%減）、経常利益346,557千円（同56.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益91,777千円（同82.5%減）となりました。

(モバイルWi-Fi事業)

モバイルWi-Fi事業は、「ONLYMOBILE」、「Only Customize Plan」（注1）、モバイルWi-Fiのレンタル事業（NETAGE）やMVNE（注2）事業を総称したサービスで、また、それらの付帯サービスとして、インターネットオプションサービスやコンテンツ等の「ONLYOPTION」の提供を行っております。

コミュニケーションセールスにおいて、新型コロナウイルス感染症に伴う行動規制が緩和されたことで大手通信キャリアや他企業による各種イベントが多数行われ、優良店舗の確保が難しかったことから遠方店舗や大型店舗を中心に稼働し販売コスト増となりましたが、新規獲得件数は前年同期と同水準で推移しております。代理店に関しては、大口代理店の販売縮小に伴い新規獲得件数が減少しているものの、MVNEとして提供した外国人労働者、留学生対象のプリペイドSIMの販売数が拡大し、ストック収入の増加に寄与しました。レンタルWi-Fiにおいて、法人は新人研修等の需要増、個人は旅行需要の回復に伴い引き続き堅調に推移しましたが、定期的発生するモバイルルーター端末の劣化に伴い、端末を購入したため減益要因になりました。

その結果、売上高4,790,800千円（前年同期比5.6%増）、営業利益1,052,842千円（同0.4%減）、モバイルWi-Fi契約回線数205,800（前年同月比18.8%増）となりました。

(ロボット事業)

ロボット事業は、コミュニケーションロボットとSIMカードをパッケージ化した「ONLYROBO」を販売し、その付帯サービスとして「安心保障サービス」や「ロボホンPrime」等の「ONLYOPTION」の提供を行っております。また、コミュニケーションロボットのプラットフォームを目指し、「新しい家族に出あえる」をコンセプトにしたロボットショップ“Robot Planet（ロボットプラネット）”を全国で展開しております。

ロボット事業におきまして、新たに量販事業部を立ち上げ家電量販の株式会社エディオンにおいて、当社の取り扱うコミュニケーションロボットの販売を開始しました。

新規獲得件数は、WEB予約の広告強化に伴う予約来店数増や、人材を増強しPOP UPストアを拡大したことで増加し、売上高についても前年同期に比べ38.0%増加しましたが、想定は下回りました。また、販売人員、広告費用等の販売促進費、遠方店舗及び大型店舗での稼働増加等により販売コストが大幅に増加し、大きな減益要因になりました。

その結果、売上高1,325,064千円（前年同期比38.0%増）、営業損失506,574千円（前年同期は営業損失122,862千円）、コミュニケーションロボット契約回線数19,900（前年同月比40.8%増）となりました。

以上のことから、当第2四半期連結会計年度末における契約回線数及びその他サービス利用者数は以下の通りとなりました。

	2022年9月末	2021年9月末	前年同月比
契約回線数 (回線)	225,700	187,400	20.5%増
モバイルWi-Fi	205,800	173,200	18.8%増
コミュニケーションロボット	19,900	14,200	40.8%増
その他サービス利用者数 (人) (※)	82,700	79,300	4.4%増

(※) その他サービス利用者数はONLYOPTION、天然水宅配、スマートホームサービスの合計になります。なお通信サービスと同時に申込されている顧客については契約回線数と重複でのカウントになっております。

(その他)

その他については、主に天然水宅配事業を行っており、ハウスベンダー事業は撤退いたしました。天然水宅配事業につきましては、営業活動を縮小しているため保有顧客数が減少し、売上高、営業利益とも減少いたしました。その結果、売上高141,898千円（前年同期比47.3%減）、営業利益41,182千円（同22.0%減）となりました。

(注1) 「Only Customize Plan」とは、当社傘下代理店が企画したサービスや価格を反映し、代理店のオリジナルブランドのサービスとして顧客に回線提供を行うプランであります。

(注2) 「MVNE」とは、大手キャリアより回線を借り受けて、MVNOに回線を卸す事業者のことであります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は9,323,651千円となり前連結会計年度末と比べ25,375千円減少いたしました。これは、主として現金及び預金の減少37,935千円、商品の減少41,735千円、受取手形及び売掛金の増加17,241千円、割賦販売による割賦売掛金の増加15,172千円等によるものです。固定資産は944,844千円となり前連結会計年度末と比べ231,170千円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は2,944,508千円となり前連結会計年度末と比べ818,059千円減少いたしました。これは、主として短期借入金の減少1,000,000千円、未払法人税等の減少115,448千円、1年内返済予定の長期借入金の増加289,992千円、支払手形及び買掛金の増加32,059千円等によるものです。固定負債は1,124,271千円となり前連結会計年度末と比べ979,766千円増加いたしました。これは、主として長期借入金の増加980,008千円によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、新株式の発行による増加5,839千円、配当金の支払いによる減少53,529千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(91,777千円)により、前連結会計年度末と比べ44,087千円増の6,199,715千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます）は、前連結会計年度末に比べ37,935千円減少し、当四半期連結会計期間末には、2,786,495千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びそれらの主要な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は29,357千円（前年同四半期は319,225千円の収入）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益の計上227,529千円による資金の増加と、売上債権の増加額32,413千円、法人税等の支払額267,280千円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は284,362千円（前年同四半期は65,349千円の支出）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出171,273千円、無形固定資産の取得による支出38,508千円、差入保証金の差入による支出74,292千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は217,069千円（前年同四半期は222,958千円の収入）となりました。これは主として短期借入れによる収入800,000千円、短期借入金の返済による支出1,800,000千円、長期借入れによる収入1,300,000千円、配当金の支払額53,529千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月10日に公表いたしました、通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日（2022年11月10日）公表いたしました「2023年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,824,930	2,786,995
受取手形及び売掛金	1,162,723	1,179,964
割賦売掛金	5,158,689	5,173,861
商品	392,034	350,298
その他	79,071	142,998
貸倒引当金	△268,422	△310,468
流動資産合計	9,349,026	9,323,651
固定資産		
有形固定資産	75,326	221,463
無形固定資産		
のれん	182,788	146,230
その他	67,786	97,372
無形固定資産合計	250,574	243,603
投資その他の資産		
その他	452,376	678,561
貸倒引当金	△64,603	△198,783
投資その他の資産合計	387,773	479,777
固定資産合計	713,674	944,844
資産合計	10,062,701	10,268,496
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	268,641	300,701
短期借入金	2,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	60,000	349,992
リース債務	482	482
未払法人税等	260,551	145,102
賞与引当金	98,813	107,412
役員賞与引当金	1,000	7,500
株主優待引当金	1,071	—
資産除去債務	—	12,360
その他	1,072,008	1,020,957
流動負債合計	3,762,568	2,944,508
固定負債		
長期借入金	90,000	1,070,008
リース債務	1,285	1,044
資産除去債務	23,943	23,943
その他	29,275	29,275
固定負債合計	144,505	1,124,271
負債合計	3,907,073	4,068,780
純資産の部		
株主資本		
資本金	648,408	651,328
資本剰余金	271,788	274,708
利益剰余金	5,235,936	5,274,184
自己株式	△506	△506
株主資本合計	6,155,628	6,199,715
純資産合計	6,155,628	6,199,715
負債純資産合計	10,062,701	10,268,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	5,765,015	6,257,764
売上原価	2,552,998	2,849,428
売上総利益	3,212,016	3,408,336
販売費及び一般管理費	2,433,764	3,050,320
営業利益	778,252	358,015
営業外収益		
受取利息	26	26
雇用調整助成金	16,623	927
貸倒引当金戻入額	365	278
受取手数料	2,201	2,324
その他	3,190	657
営業外収益合計	22,408	4,214
営業外費用		
支払利息	3,177	3,311
事務所移転費用	—	12,360
営業外費用合計	3,177	15,671
経常利益	797,483	346,557
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	119,028
特別損失合計	—	119,028
税金等調整前四半期純利益	797,483	227,529
法人税、住民税及び事業税	293,939	153,902
法人税等調整額	△22,336	△18,150
法人税等合計	271,602	135,752
四半期純利益	525,880	91,777
親会社株主に帰属する四半期純利益	525,880	91,777

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	525,880	91,777
四半期包括利益	525,880	91,777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	525,880	91,777

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	797,483	227,529
減価償却費	16,350	28,132
のれん償却額	36,557	36,557
株式報酬費用	5,142	7,579
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,077	8,599
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,500	6,500
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	53,342	176,226
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△1,508	△1,071
受取利息	△26	△26
支払利息	3,177	3,311
事務所移転費用	—	12,360
売上債権の増減額 (△は増加)	△147,704	△32,413
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△96,921	41,735
仕入債務の増減額 (△は減少)	30,228	32,059
未払金の増減額 (△は減少)	△117,054	△6,522
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,855	△68,782
その他	△4,726	△171,290
小計	584,772	300,483
利息及び配当金の受取額	26	26
利息の支払額	△3,215	△3,871
法人税等の支払額	△262,358	△267,280
営業活動によるキャッシュ・フロー	319,225	29,357
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34,841	△171,273
無形固定資産の取得による支出	△17,304	△38,508
資産除去債務の履行による支出	△1,660	—
差入保証金の差入による支出	△11,156	△74,292
差入保証金の回収による収入	641	742
その他	△1,029	△1,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,349	△284,362
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000,000	800,000
短期借入金の返済による支出	△700,000	△1,800,000
長期借入れによる収入	—	1,300,000
長期借入金の返済による支出	△30,000	△30,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	600	840
リース債務の返済による支出	△241	△241
自己株式の取得による支出	△56	—
配当金の支払額	△47,344	△53,529
財務活動によるキャッシュ・フロー	222,958	217,069
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	476,834	△37,935
現金及び現金同等物の期首残高	1,414,539	2,824,430
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,891,373	2,786,495

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	モバイルWi-Fi事業	ロボット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,535,759	960,224	5,495,984	269,030	5,765,015
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,535,759	960,224	5,495,984	269,030	5,765,015
セグメント利益又は損失(△)	1,056,606	△122,862	933,743	52,780	986,524

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、当社グループが行っている天然水宅配事業及びハウスベンダー事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	933,743
「その他」の区分の利益	52,780
全社費用(注)	△208,271
四半期連結損益計算書の営業利益	778,252

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	モバイルWi-Fi事業	ロボット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,790,800	1,325,064	6,115,865	141,898	6,257,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,790,800	1,325,064	6,115,865	141,898	6,257,764
セグメント利益又は損失(△)	1,052,842	△506,574	546,267	41,182	587,449

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、当社グループが行っている天然水宅配事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	546,267
「その他」の区分の利益	41,182
全社費用(注)	△229,434
四半期連結損益計算書の営業利益	358,015

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。